



令和7年11月

編集・発行  
姫路市連合婦人会  
会長 岩田稔恵

姫路市本町68番地290  
イーグレひめじ3F  
TEL (079)224-2401  
FAX (079)224-2402

## 令和7年度 姫路市女性文化大会

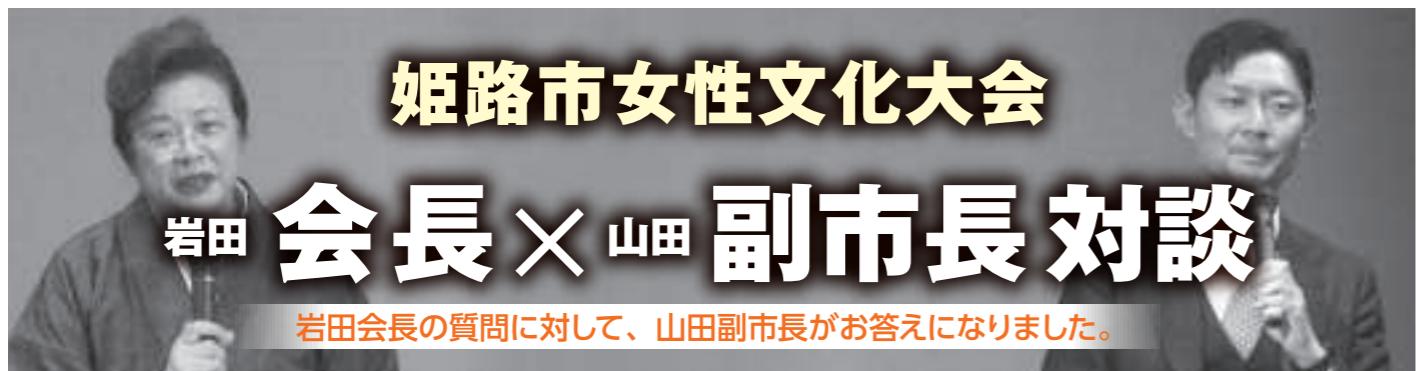


10月4日(土)、あいめつせホールにおいて、姫路市女性文化大会を開催しました。

姫路市長代理の井上副市長から水上校区会長の豊田多恵子さんと城西校区女性部第5ブロックへ、また、岩田会長から中寺校区副会長の松本由美子さん、四郷校区副会長の千木良加津代さんへそれぞれ感謝状が贈呈されました。その後、観光や教育、まちづくりなどについて、山田基靖副市長と岩田会長の対談がありました。(対談の内容は2~3ページに掲載しています)

最後のアトラクションはボーカルデュオBLENDYのステージで、楽しいトークと共に名曲を堪能しました。



**岩田会長**

皆さんにお伝えしたいのは、姫路市が清元市長、副市長3人、教育長、教育監などの幹部の支えによって運営されていることです。山田副市長には以前SDGsの講演でお世話になり、今では「姫路の母」と親しく呼ばれています。副市長の普段見えない一面も知っていただきたいです。

**山田副市長**

本日はご機会をいただき、ありがとうございます。私は市長の補佐役として、約1年半、国際交流や経済、観光、防災、教育、子育てなどの政策に携わっています。元は東京生まれで、父の転勤に伴い北海道など各地を経験しました。父は経営破綻した北海道拓殖銀行に勤め、私も帶広での思い出があります。父は遺言で「死ぬ場所は選べる」と残し、市長からの誘いを父の言葉に重ね合わせ、姫路で仕事を楽しんでいます。

**岩田会長**

転勤族としてさまざまな場所に行かれたうえで、「姫路に来てもいい」と思ってくださった、そのような視点から見た姫路の良いところは、どのような点でしょうか。

**山田副市長**

「山田さん、外務省を辞めて姫路に来た理由は何かですか?」とよく質問されます。私自身も移住者として、姫路の魅力は姫路に住む方と同じか、それ以上に感じているからこそ、仕事や移住ができたと思います。姫路は、日本を代表し、世界に示せるほど魅力が詰まった街だと確信しています。

私は2011年に姫路に初めて訪れ、姫路城の周辺の歴史や文化に惹かれてマンションを購入しました。姫路は、ポーランドのクラクフと似た歴史と文化的の深さを持ち、外国人にも「日本らしさ」を実感できる場所です。神戸にも住んだ経験がありますが、姫路の景色や街並みは、日本らしさを強く感じられると考えています。観光や情報発信を通じて、姫路の魅力をもっと広めていきたいです。

**岩田会長**

私も皆さんと同じように、姫路城を間近で見られることのありがたさを実感しています。多くの方や外国からの観光客は、姫路城や街並みを訪れていたりと願って姫路を訪れます。私たちは日常的に見ているため、その価値や特別さを当たり前に感じがちですが、実はそれは珍しいことです。私は県外に出る際、「姫路城を背負っている」と自己紹介することもあり、その重みと誇りを日々感じています。

**山田副市長**

姫路城の入城者数は年間150万人以上で、その約3分の1が外国人です。特に多いのは台湾からで、最新の統計によると、台湾からの訪問者は年550万人に達し、今後700万人に増える見込みです。台湾の方々は「マイ・ジャパン」を探しており、姫路も注目されています。私もポーランドから来た方々と姫路で出会い、姫路の国際的な魅力が広がっていると実感しています。たとえ人口減少が続いても、景色や文化を求める人々にとって姫路は選ばれる街であり続けると確信しています。

**岩田会長**

姫路には多くの観光客が訪れるようになっていますが、京都のように街の規則を守らず、他人の敷地に入るなどの問題が起きないよう注意が必要です。姫路の街をきれいに保ち、適切な観光マナーを守ることを願っています。

**山田副市長**

私も同じ意見で、オーバーツーリズムや外国人の増加に懸念を持っています。姫路市の外国人住民は約1万4,000人で、毎年1,000人ずつ増加しており、これは人口減少の中で重要な課題です。企業も日本人の採用が難しく、知識やリーダーシップを發揮できる人材の確保に苦労しています。外国人採用には、地域のルールを守り、日本語を話す文化や歴史を尊重してくれる方を歓迎したいと考えています。観光だけでなく住民としても、地域の景観や文化を守れる方を受け入れる仕組みづくりが必要です。

**岩田会長**

日本人の常識やごみの出し方を理解してくださる方は良いですが、外国から来て働く方には伝わりにくいこともあります。それでも、彼らが来て働いてもらわなければ企業は成り立ちません。私たちは、ごみの出し方や近所付き合いなどについて少しでもサポートし、海外からの方々と日常生活がスムーズにできるようお手伝いしたいと思っています。

**山田副市長**

私の子どもは11歳と4歳ですが、少子化が進んでおり、昨年の出生数は68万人で、政府の予測よりも早く70万人を下回っています。今年の上半期は33万人と、今後さらに減少する見込みです。社会の仕組みも変わらざるを得ません。姫路市も、平成27年には約4,700人の出生があったのに対し、昨年は約3,300人に減少しています。

一方、姫路はものづくりの企業が全国2位と活気がありますが、担い手の減少も深刻です。次世代につなぐためには、国籍を問わず地域を大切に思う人材の育成と受け入れが必要です。地域のルールや生活スタイルの情報提供を充実させ、行政としても積極的に取り組んでいます。私自身も、未来の子どもたちが安心して暮らせる街づくりを目指し、日々努力しています。

**岩田会長**

子どもが少なくなる一方で、学校の数は変わらず、統合などの議論が進んでいます。また、一部の地区に子どもが集中している状況もあります。この現状に対して、どのような対策を考えられるでしょうか。

**山田副市長**

子どもの減少は難しい課題です。少子化の要因の一つは共働き家庭の増加で、利便性を重視した生活スタイルが影響しています。都市部に人口が集中するのも、そのためと考えています。

学校についても、子どもが減ることで教育の質や維持が難しくなり、統廃合は心苦しい決断ですが、財政負担や将来のためには必要不可欠です。地域の声も理解しつつ対応策を模索しています。

**岩田会長**

一方で、統廃合が進む中、増築や新校舎が必要な小学校もあり、迅速な対応が難しい現状があります。予算や手続きの課題もありますが、子どもたちが狭い環境でなく、のびのびと教育を受けられるよう、早期に増築や新設を進めていただきたいです。

**山田副市長**

子どもたちの環境整備については、私が着任してからの1年半、多くの職員が熱意を持って議論し、取り組んでいることです。ご要望は真摯に受け止めさせていただきます。

**岩田会長**

子育てや医療の予算配分には限りがあり、子どもに予算を増やすと保険料負担が増えるという矛盾があります。私も姫路市国民健康保険運営協議会や兵庫県後期高齢者医療制度懇談会の委員を務めており、将来を見据えた制度設計の重要性を痛感しています。国の決定に左右される部分も多いので、国の方針を期待しています。

**山田副市長**

姫路や播磨、兵庫県の状況は地域ごとに大きく異なります。そのため、国や県との連携と情報伝達が非常に重要です。私が姫路市役所にいて良かったと感じるには、市長や副市長、幹部が未来を見据え、ダメージコントロールや先行政策に取り組んでいるからです。

少子化や医療・社会保障の負担、軍事予算の不足など、さまざまな「無い問題」が山積しています。限られた税収と人口規模を考慮し、優先順位をつけて対応する必要があります。

**岩田会長**

私も以前は自己中心的に考えていましたが、孫の成長を見る中で、姫路市の負債を増やすではないと強く感じるようにになりました。市民として意見を率直に伝えることが大切だと考え、会議や活動の場で積極的に発言しています。改善が難しくても意見を述べ、参加し続けることが重要です。地域のボランティア活動を通じて、みんなの思いを共有し、会議で伝える努力を続けています。

**山田副市長**

皆さんもご存じの通り、会長のご意見発信は非常に重要で感謝しています。私自身、今子育て真っ只中で、万博を訪れた際に未来社会を感じ、明るい未来への希望を持ちました。人口減少の中でも地域や国が再び活気を取り戻すには、経済成長が不可欠です。そして、その成長には「人」が必要であり、人材の呼び込みは重要な課題です。

私たちの世代はデフレマインドに影響され、物価が上がらないことを良しとしがちですが、地域の元気のためには、人を呼び込み、経済を活性化させることができます。これが不可欠であり、これは市だけでなく国とも連携して進めるべき課題だと考えています。

**岩田会長**

10月からさまざまな商品の値上がりがあり、働く人の給料も上げられる流れが進んでいます。必要なものだけを選び、無駄を避ける賢い消費が大切です。例えば、お米は生産コストが高いため、価格が上がるのは当然であり、その背景を理解し、価値を認めて買うことが重要です。高価でもその価値に見合った買い物を心がけることが、賢い消費者の姿勢だと私は考えています。

**山田副市長**

この1年半、農業の仕組みについて学び、兼業農家や専業農家の苦労を知る機会がありました。農家の税申告書を見せていただいた際、人件費が計算されていない実態に衝撃を受けました。制度の複雑さや費用の上昇に対し、十分な収益を得られない現状があり、これでは担い手が減ることを危惧しています。根本的な解決には、担い手支援の仕組みづくりが必要です。子どもたちが将来お米を食べられる社会を守るために、支援のあり方を考える必要性を痛感しています。

**岩田会長**

実際、お米を作っても収益が上がらず、荒地が増える状況です。荒地を田んぼに戻し、採算に合う農業が実現すれば、若い世代も農業に積極的に取り組むでしょう。しかし、兼業農家では費用や体力の負担が大きく、作る喜びを感じられず、結果、田んぼが荒れ果ててしまうケースも増えています。

こうした状況では、地域だけでは農業を支えきれないため、海外から農業の知識や経験を持つ人を招き、大規模農業に取り組むことも解決策の一つだと考えています。

**山田副市長**

今後、農業や漁業も外国人実習生の協力なくして成り立たない状況になっています。私たち市民や国民は、「食べ続けたい」「現状を維持したい」ならどうしたらいいかといった選択を迫られています。30年後の出生数予測は約34万人と少なく、子育て支援や少子化対策だけでは十分ではありません。現状の制度や支援は進んでいますが、出生数は減り続けています。

私自身も親や市民として、これから選択を真剣に考えなければならないと感じています。一方、「外国人は嫌だ」というだけでは産業や社会が成り立たなくなります。姫路でも外国人の増加傾向があり、私たちも選択を迫られています。

私たちはさまざまな政策を通じて、姫路が多くの人々に選ばれる街になることを目指しています。伝えたいのは、姫路は住んでいる人も住み続けたい、外から見ても「住んでみたい」と思える、ポテンシャルの高い街であることです。人口減少の中でも、「いつか住みたい」と思われる街づくりを進めていきます。実際、先日の万博にはオーストリアとチェコの大統領が姫路を訪れ、兵庫県内で国家元首が訪れるのは姫路だけであり誇りに思いますので、市長のもとで素晴らしい街づくりを進めていきたいです。今後とも、皆さまからのご意見をお聞かせください。



9月23日(火)、あいめつせホールで開催され、岩田会長はじめ会員15名が出席しました。エコアクション功労表彰を城西校区女性部第4ブロックが受賞しました。表彰式後、気象予報士、防災士の片平敦さんによる「地球温暖化つなに?私たちにできるコト」と題した講演がありました。



## 環境と美化のつどい



8月1日(金)、婦人会活動室において、前半は県立姫路商業高等学校の地域創生部による「ふわ姫パン」のデモンストレーションと販売を行いました。「ふわ姫パン」は「どこでも・手軽に・そのまま・美味しい」の5つのコンセプトを取り入れた、7年の長期において、前半は県立姫路商業高等学校の地域創生部による「ふわ姫パン」のデモンストレーションと販売を行いました。「ふわ姫パン」は「どこでも・手軽に・そのまま・美味しい」の5つのコンセプトを取り入れた、7年の長期において、前半は県立姫路商業高等学校の地域創生部による「ふわ姫パン」のデモンストレーションと販売を行いました。「ふわ姫パン」は「どこでも・手軽に・そのまま・美味しい」の5つのコンセプトを

トを取り入れた、7年の長期保存が可能な災害食で、試食もあり、用意した個数が全て売れました。後半は地域赤十字奉仕団の研修で、姫路商業高等学校の生徒さんも一緒にAEDを使った心肺蘇生を体験しました。

## 第1回 地域啓発講演会

7月30日(木)、加東市地域交流センターで開催され、姫路市連合婦人会から岩田会長はじめ35名が出席しました。式典のあと、齋藤元彦兵庫県知事による「新たな躍動が広がる兵庫～次のステージへ～」と題した講演がありました。



## 令和7年度 兵庫県婦人大会



7月10日(木)、婦人会活動室において、岡山市連合婦人会会員27名と姫路市連合婦人会会員19名が参加し、情報交換会を行いました。活動概要を報告し合い、会員減少などの問題点や消費生活活動、防災などについて話し合いました。9年ぶりの再会に和やかながらもそれぞれの熱意が伝わる会となり、これから活動の参考にしていきたいと思います。



## 姫路市社会福祉大会

10月29日(水)、姫路市市民会館で開催され、岩田会長はじめ理事が出席しました。表彰のあと、気象予報士、防災士の正木明さんによる「防災は自助・互助・協働のまちづくり」と題した講演がありました。



## 太平洋戦全国空爆犠牲者追悼平和祈念式



8月15日(金)、姫路市市民会館で挙行され、岩田会長はじめ理事が参列しました。

## 姫路市戦没者追悼式



## 姫路防衛協会創立60周年記念コンサート



10月15日(水)、姫路市役所口ビーチで、消費者協会から2名が参加し、特殊詐欺被害防止を呼びかけました。

## 街頭啓発活動



## 姫路城・プラハ姉妹城提携締結式



7月23日(水)、姫路城迎賓館で行われ、岩田会長が出席しました。

10月6日(月)、三の丸広場で行われたオープニングセレモニーに、岩田会長が出席しました。



## 姫路城観月会

7月10日(木)、婦人会活動室において、岡山市連合婦人会会員27名と姫路市連合婦人会会員19名が参加し、情報交換会を行いました。活動概要を報告し合い、会員減少などの問題点や消費生活活動、防災などについて話し合いました。9年ぶりの再会に和やかながらもそれぞれの熱意が伝わる会となり、これから活動の参考にしていきたいと思います。

## 姫路市人権のつどい

8月7日(木)、姫路市市民会館で開催され、理事が出席しました。表彰のあと、気象予報士、防災士の正木明さんによる「気象予報士としていま思うこと」震災・人権・そして未来」と題した講演がありました。



## 高齢者消費者被害防止講座

9月24日(水)、生涯学習大学校で行われ、城西校区から会員7名が参加し、クレジットカードの仕組みと賢い使い方を学びました。



## 姫路城・プラハ姉妹城提携締結式



7月23日(水)、姫路城迎賓館で行われ、岩田会長が出席しました。

10月6日(月)、三の丸広場で行われたオープニングセレモニーに、岩田会長が出席しました。



## 姫路城観月会

10月1日(水)、J.R.姫路駅周辺で行われ、岩田会長はじめ3名が参加しました。

## 共同募金街頭啓発

10月1日(水)、J.R.姫路駅周辺において行われた陸上自衛隊中央音楽隊コンサートを、岩田会長はじめ20名が鑑賞し、吹奏楽の音色を楽しみました。



# あいめっせだより

## 「日本女性会議2025橿原」が開催

令和7年10月3日から5日に、奈良県橿原市で「日本女性会議2025橿原」が開催され、姫路市からも参加しました。

日本女性会議は、男女共同参画の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流の促進や情報のネットワーク化を図ることを目的とした国内最大級の大会で、令和4年以来の開催となります。

3日に亘る会議では、記念シンポジウムをはじめとする全体会議、様々な専門分野からなる9つの分科会が開催されるなど、最新の知見が紹介されるとともに、熱心な質疑応答も交わされるなど会場は活況を呈しており、姫路市が男女共同参画を推進する上でも、非常に貴重な経験となりました。

次回の日本女性会議は、令和9年に、香川県丸亀市で開催予定です。



▲日本女性会議2025橿原



## あいめっせ図書情報コーナー

あいめっせの図書情報コーナーは、女性問題・男性問題などを解決するための資料を収集し提供しています。

1万冊を超える蔵書が、みなさんをお待ちしています。是非ご利用ください。

開室時間 10:00~21:00 (貸出受付は17:20まで)  
市内在住・在勤・在学の方がご利用いただけます。



### 姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”

〒670-0012 姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階 Tel.079-287-0803 Fax.079-287-0805  
ホームページ <https://www.city.himeji.lg.jp/i-messae>